

学校の入り口に見事に咲き揃った水仙が、毎朝、子供達の元気な笑顔を迎えています。

< 閏年 (うるうどし) の ヒ・ミ・ツ >

今年は閏年 (うるうどし) で、2月は29日まであります。現在日本で使われている暦は「太陽暦 (グレゴリオ暦)」で、地球が太陽のまわりを一周するのにかかる日数である約365日を1年としています。ただ**実際には1年につき6時間ほど足りません。そのため、4年間では、6時間×4=24時間、つまりあと約1日分の時間が足りず、ずれていってしまいます。**

そこで、紀元前1世紀に太陽暦を使い始めたローマでは「西暦の年号が4でわりきれぬ年」を「閏年 (うるうどし)」と定め、4年に一度、1年の日数を1日増やして調整するようにしました。

ただし、**本当のずれは、6時間ではなく、5時間49分**なので、閏年に調整することで、4年間で11分×4=44分増やしすぎになってしまいます。従って、さらに微調整をする必要があるため、閏年 (うるうどし) となる年は、次のルールで決められています。「4の倍数になる年2004年、2008年、2012年…は閏年」ただし**例外として「100の倍数になる年の中で、400でわりきれぬ年2100年、2200年、2300年…は平年」**。「400でわりきれぬ年2000年、2400年は閏年」となります。

今年2020年は、閏年 (うるうどし)。特別な年に、31名が同じ学舎 (まなびや) 北足柄小学校で共に学ぶ「縁」を大切にしながら、今年度のゴールに向かって力を尽くしていきます！



雨上がりの青空が、校庭の水たまりに映り込み、とても美しい光景でした！-2月13日(木)午前10時頃-

2月13日(木)は、午後から気温が上がり18℃位を記録していました。そのような穏やかな日、職員室から教頭先生のただならぬ声が、校長室に届いてきました。職員室の窓の縦枠から、なんとテントウムシの大群が湧き出てきたのです。冬ごもりの虫が這い出る意の二十四節気「啓蟄 (けいちつ) ~2020年は3月5日」の前に、ナミテントウ (並天道) の大群が活動を始めたようです。調べてみるとナミテントウ (並天道) は、成虫で、しかも集団で冬越しをする昆虫なのだそうです。背中上の斑紋に色々なバリエーションがあるナミテントウ (並天道) の、それぞれの春の旅立ちにエールを送ります。

2月14日 (金)の朝の環境タイムでは、31名全員が、春の土の香りを感じながら花壇の草取りをしました。



ナミテントウの大群がいた縦枠

手話体験 4年生

一見、障害があると分からないため、誤解されてしまう事もあります。無視しているわけではありません。耳の不自由な人への理解が広まってほしいです。

- < 耳の不自由な方とのコミュニケーション方法 >
- 手話 ○指文字 ○口話
 - 紙に書く (筆談) ○地面に書く
 - ジェスチャー (身ぶり) 物を指で指す
 - 空中に字を書く (空書)

1月28日 (火) に、手話サークルひまわり様を講師にお迎えして、耳の不自由な方とのコミュニケーションについて4年生が学習しました。

授業の前半は「耳の不自由な方と、コミュニケーションをとるためにはどうしたらいいか？」について、考えました。4年生の6名の子供達が真剣に考え発表する姿を見て、思いやりの心を持って、その時々場面に合わせてできそうなことを一生懸命考える姿勢が、まずは大切なのだと思いました。

後半は、挨拶等の手話を教えていただきました。



内山福祉会 うどんづくり体験 6年生

1月30日（木）に、内山福祉会（矢後昇坪会長）の皆様、鹿熊スクールコーディネーター、6年生の保護者の皆様のご協力を得て、6年生10名が、毎年恒例の「うどん打ち」を体験しました。

講師は、本校の学校運営連携協議会委員でもある「あしがら万葉うどん」の店主の和田博文様です。

本格的なうどんづくり体験ということで、うどんの生地から作りました。

まず、水と食塩を入れたボールに生卵を入れて、生卵の浮き方を目安に塩分濃度を調整し、その日に使用する食塩水を作るところから始めました。

次に、小麦粉に食塩水を回し入れて、そばろ状に混ぜて、生地をまとめていきました。丸くまとまったうどん生地进行を30分間寝かせました。

ついに麺棒登場です！麺棒でうどん生地进行を伸ばし、生地进行をたたんで、包丁で一定の幅に切りました。子供達は、実に丁寧に、上手にやっていました。

最後に、大きめの鍋にたっぷりのお湯を沸かして、うどんをゆでました。ゆで上がったうどんを手早く流水で洗い、ざるにあげました。

ついに、美しいうどんができました。

だし汁や、付け合わせの青菜・山菜・天かす・七味等も、和田博文様や内山福祉会様でご用意くださいました。

地域や保護者の方々のご協力を得て、自分達で打った本格的な手打ちうどんは、絶品！とってもおいしかったです！

貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

うどん作りの最初に登場したのが、なんと生卵！

小麦粉に加える食塩水の塩分濃度の調整の重要さをまっず学びました。



昔遊び体験 1年生

1月29日（水）に、櫻井一郎さん（放課後子ども教室）、矢後整一さん、吉澤京子さんにお越しいただき1年生生活科の昔遊びの指導をしていただきました。

おはじき、竹馬、紙飛行機の体験を通じて、ルールの大切さや、新しいことにチャレンジする楽しさを知ることができました。できるようになることが増えたときの子供達の笑顔は、きらきら輝いていました。

給食を一緒に食べていただきながら、さらに親交を深めることができました。地域の方々の教育力に、心より感謝いたします。



1年生3名の竹馬は、矢後整一さんが、ご自宅で作ってきてくださいました。

松田警察署の見学 3年生



1月31日(金)に、3年生が松田警察署に見学に行きました。来年度から小学校では、新学習指導要領が全面実施されます。それに伴って2年間の移行措置期間がありました。3年生は、現在使用している社会科の教科書において令和元年度に「地域の安全を守る働き」を学習します。

松田警察署では、110番の仕組みや、交通事故・事件の迅速な対応、防止のための仕事等について丁寧に説明をしていただき、学習を深めることができました。

理科「水のあたたまり方を調べよう」の実験 その後…4年生

2月13日(木)、4年生の示温(サーモ)インクを使った理科の実験がとてもおもしろそうなので一緒に参加させていただきました。炎が当たっているところを起点に色が変わっていく様子をじっくり観察しながら、水のあたたまり方について話し合っている子供達、その会話や解説を聴き

「なるほど!」と思い、改めて理科が大好きになりました。さらに「あたたまった後、このビーカーの水の冷め方ってどうなるのかな?示温(サーモ)インクは、どう変化するのかな?」そんな疑問を子供達と持ちました。

その後、水の冷め方の実験について気になって気になって、先日、子供達に尋ねに行ったら「冷たい水は下に行く性質があるから、冷めるときは、ビーカーの下の方からピンク色(高温)が青色(低温)に変わります。」と、きちんと答えてくれました。日頃からの説明学習の成果でしょうか、実に分かりやすい説明でした。

上の方
(ピンク色)は高温



冷め方は?

社会科 森林を守る人々 5年生

2月13日(木)に、5年生が、社会科「森林を守る人々」の学習で、21世紀の森に行きました。林業に関する展示を見学して、身近な林業・環境保全・木の魅力等について学びました。



21世紀の森までは、学校から歩いて片道35分位、身近にある施設です!

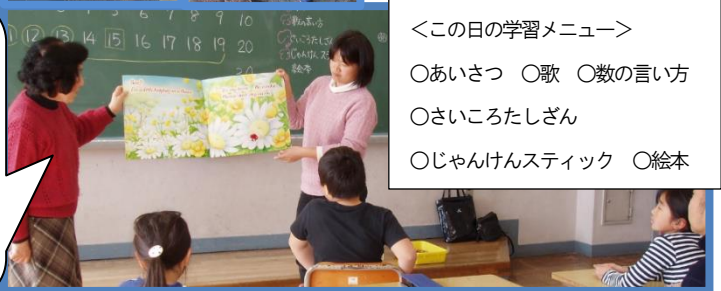


学校前の小高材木店様の立派な木材(50年以上の杉)の製品。↑

英語活動 2年生

1・2年生は、年間10回程度、日本人指導協力者の小野田春代先生と担任が連携して英語活動を行っています。

子供達がつぶやく疑問や発想を生かしながら生き生きと授業を展開しているのは、少人数の良さですね。-小野田先生より-



<この日の学習メニュー>

- あいさつ ○歌 ○数の言い方
- さいころたしざん
- じゃんけんスティック ○絵本

ふれあいタイム 全校遊び 今回の計画・進行は 1年生

せん木交あそびのおしらせ

1めあて
せん木交でなかよくたのしくあそぶ

2日目 2月12日(水) 13:00~

3ばいよ 校でりく雨のとき休養かん

4あそび

①1年生でまわせ
②せ甲文学
③てきま

5もちせの なし



2月12日(水)に、ふれあいタイムを利用した「全校遊び」がありました。年間を通じて、各学年で計画・進行を担当します。今回は、1年生の3名が担当しました。全校のみんなが楽しんでもらえるような遊びを計画したり、分かるように説明したり3名とも大活躍でした。もうすぐ2年生、胸を張って進級できます。

一生懸命話を聞いて、優しくしてくれる高学年は、1年生のあこがれです!!

1年生より

※ 北足柄小学校ホームページでは、学校便り等をカラーでご覧いただけます。

